

近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成23年度第7回） 議 事 録（速報版）

1. 日 時 平成24年3月27日（火） 16:00（開始）

2. 場 所 近畿地方整備局 第一別館 大会議室

3. 出席者

○ 委 員 小林 潔司 委員長
寶 警 委員、 田中 等 委員、
藤本 英子 委員、 山下 淳 委員

○ 近畿地方整備局
局長、総務部長、企画部長、河川部長、道路部長、
営繕部長、用地部長

4. 議 事

(1) 開 会

(2) 事業評価監視委員会審議

[再評価]

(ダム事業)

足羽川ダム建設事業

5. 審議結果

[再評価]

・足羽川ダム建設事業

審議の結果、「足羽川ダム建設事業」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

なお、委員会における検討および上記判断の理由は以下の通りである。

- ・近畿地方整備局は「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づいて「足羽川ダム建設事業の地方公共団体からなる検討の場」を設置して足羽川ダムの検証を進め、総合的な評価の結果として、最も有利な案は現行計画案（足羽川ダム案）であると評価した点について、検証に係る検討の進め方、検討手順にも不備がなく、評価結果について、当委員会としても妥当であると判断できる。
- ・足羽川ダム建設事業の検証に係る検討 報告書（原案）作成に当たっては、パブリックコメントや学識経験を有する者、関係住民からの意見聴取をおこなない、大多数が足羽川ダム事業を継続し、早期の完成を望む意見となっており、当委員会としても、こうした意見を尊重すべきものとする。
- ・福井県知事への意見聴取において、「足羽川ダム建設事業については「継続」することが妥当であると考えられる」とした対応方針（原案）については異存ありませんと回答されている。
- ・事業の投資効果（費用対効果分析）においても、全体事業におけるB/Cは1.3、残事業のB/Cは1.8であり、事業の投資効果が確認できた。

以上、総合的に判断した結果、事業評価監視委員会としては、足羽川ダム事業について対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

以 上